

研究協力（医療計画実施）の説明書

「より効果的なフットケアを目指して～意識調査から見えた今後の課題～」

研究に対するご協力をお願い（医療計画に対する説明）

所 属 看護部

研究（治療）責任者 竹平 麻那

1 研究（医療計画）課題名

「より効果的なフットケアを目指して～意識調査から見えた今後の課題～」

2 研究（医療計画）の目的

透析治療をうけておられる患者さまの足は、足の冷え・痺れ・痛み・潰瘍（皮膚や粘膜がさまざまな原因で傷害され、それが進行することによっておこる組織の欠損）の形成といった様々な足病変が起りやすくなっています。その理由は動脈硬化や末梢血管障害のために血液の循環が悪くなるからです。さらに、傷（潰瘍）が悪化し、壊疽に陥った場合、足の切断に至る場合もあります。また糖尿病の患者さまは、神経障害により足の感覚が鈍くなり、足の異常の早期発見を困難にしています。そのため、足をよく見て・触って、足の症状の早期発見・早期治療に努める必要があります。

当院ではフットケア指導士を中心としたフットケアチームを立ち上げ、スタッフの知識・技術を高める勉強会を実施すると共に、全透析患者さまに対し定期的な問診、足の観察、ABI（ankle brachial index：足関節部上腕血圧比）検査、SPP（skin perfusion pressure：皮膚灌流圧）検査による血流障害評価の実施、リスク評価、ケアの指導および治療、管理を行い、専門的な治療が必要となれば、連携体制の同意をかわしている富山県内の総合病院4施設へ紹介を行っています。

このように多職種による様々なフットケアの取り組みを行っている今でも、たこ処置・爪切り処置による出血や感染徴候、靴擦れや低温熱傷による足病変の発生といった事例はなくなりません。

われわれ病院のスタッフが、週3回透析に来院するごとに患者さまの足を観察し、入念なフットケアを行うことができれば、迅速に検査や治療などの対応ができると予測はされるのですが、透析室に勤務する看護師がフットケアにあてられる時間には限界があります。

そこで、患者さま自身がこれまでよりフットケアに関心を持ち、ケアの必要性を理解し、ケアをご自身でも実践・継続でき、かつスタッフが患者さま一人一人の状態に合わせた、より効率的で効果的なフットケアが実施出来れば、「足病変の発生を予防」が達成できるの

ではないかと考えています。

3 研究（医療計画）の方法・研究協力事項など

当院で維持血液透析を実施している患者さまに、フットケアチームの看護師2人がフットケアに関する意識を調査票に沿って聞き取りで行い、同時に足の状態、全身状態、生活環境、セルフケア能力についてアセスメントを行います。また、患者さま自身が困っていることを聴取いたします。

それらを踏まえ、患者さま1人1人にあったフットケアの対策をたててケアをおこなってゆきます。

調査期間は2019年7月1日～2019年8月31日です。

4 患者さま（被験者）にもたらされる利益および不利益

患者さま一人一人に現時点での適切なケア方法を提案し、困っておられる事があれば、対応を検討させていただきますので、これまでより足病変の発生予防がより効果的に効率的にできると思われれます。

一方で透析中、お休みになったりテレビを見たり、読書をされたりといった患者さまの貴重な時間をいただくこととなります。

また最大限の注意を払っておりますが、患者さまの個人情報の漏洩の危険性が挙げられます。

5 健康被害が発生した場合について

通常診療の範囲の研究（検査）のため、本研究で健康被害をもたらすことはありません。

6 個人情報の保護

研究の結果は他の人に漏れないよう厳重に管理されます。個人情報に関してはパスワード設定されたパソコンに保管し、個人情報管理者がパスワードを厳重に管理する事により、可能な限りの個人情報保護の対処を行います。

7 研究協力または治療選択の任意性と撤回の自由

協力することを断っても、診療上の不利益を受けることはありません。また、一旦協力しても撤回することができます。

8 研究（医療計画）計画書等の開示

特にありません。

9 患者さん（被験者）への結果の開示

希望があれば、結果を開示いたします。また、研究方法などに関する資料が必要な場合は用意し、説明いたします。

患者さまの同意が得られればご家族にも対応いたします。

10 研究（医療計画）成果の公表

研究の成果は、個人が特定されない方法で学会・研究会で公表させていただきます。

11 研究（医療計画）から生じる知的財産権の帰属

研究によって、知的財産権が生じる可能性があります。患者さま（被験者）には帰属しません。

12 研究（医療計画）終了後の試料取扱の方針

検査データなどは診療記録内に通常通り保管します。

13 費用負担に関する事項

本研究は、調査・解析項目も日常の保険診療内で行っている検査結果を利用するものであり、あらたに患者さまへの負担は生じません。

なお、この研究への協力に対して報酬はありません。

14 利益相反について

本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業などはございません。

15 問い合わせ先

あなたが、病気の事や今回の研究に関して疑問に思う事や困ったことが生じる場合は下記にご連絡下さい。

連絡先 : 〒930-0065 富山市星井町2丁目7-40

長谷川病院

研究(治療)責任者

竹平 麻那

TEL : 076-422-3040 FAX : 076-422-5308

調査表：

問1 足の観察は必要だと思うか？ 必要ある 必要ない わからない

問2 問1で 必要ない と回答されたのはなぜか？

1. 足の状態で困っていることがないから
2. 自分自身や自分の足に関心がないから
2. 足を見たくないから
4. その他

問3 どれ位の頻度で足を見ているか？

1. 毎日
2. 気が向けば
3. 入浴時
4. 靴下装着時
5. 視力の低下や体を曲げられないことが原因で足を見ることができない
6. 全く見ない
7. 軟膏塗布時
8. 爪切り時

問4 今、足に何かできているか？

1. 怪我
2. 水虫
3. 水膨れ
4. タコ・魚の目
5. 踵の亀裂
6. 靴擦れ
7. 皮剥け
8. 低温熱傷
9. 巻き爪
10. その他
11. 褥瘡
12. 症状なし
13. わからない

問5 何か足の為にしていることはあるか？

()

問6 問5で 何もしていない と回答した方はなぜしていないのか？

1. 問題ないと思うから
2. 何もしなくても治ると思うから
3. 自分自身や自分の足に関心がないから
4. 足を見たくないから
5. 時間がないから
6. 対応の仕方がわからないから
7. 受診や処置を試みたが改善されないから

問7 些細な怪我 水虫 水膨れ タコ・魚の目 亀裂 靴擦れ 皮剥け
巻き爪程度では足切断にならないと思う なると思う ならないと思う

問8 当院でのフットケアを受けていく中で、どのような希望があるか？

* 足観察

足趾の変形（外反母趾・内反小趾・強剛母趾・開張足・外反扁平足・凹足・ハンマートゥ・クロウトゥ）

皮膚（乾燥・鱗屑・胼胝・鶏眼・疣贅・亀裂・角質化・湿潤・浸軟・水疱・浮腫・腫脹・潰瘍・壊疽・汚れ）

爪（嵌入爪・深爪・爪白癬・肥厚・爪周囲炎・爪変形・爪甲下出血・紫斑）

